

令和3年7月14日（水）

今日、小学部2ブロックの全児童対象（新型コロナ対策のため2部制）に、プレイルームで特別活動「合同あそび（夏まつり）」が行われました。

「合同あそび」では、季節の行事等を題材に、友達と関わることにより集団を意識したり、活動を通して友達とともに楽しい気持ちを表現し合ったりすること等を大切に取り組んでいます。



「なつまつり」のボード

活動内容としては、はじめは、ゲームコーナー。お店屋さん役の児童にゲームのチケットを渡しシールをもらった後、みんなでボウリングと魚釣りのゲームをしました。順番にゲームを楽しみ、友達の活動を見たり、競い合ったりする姿も見られました。次に、まねっこ体操。盆踊りの代わりとして、あそびの指導「からだ」の授業で取り組んでいる体操で、児童から「もう1回」とアンコールもできました。クライマックスは、スクリーン上での花火大会。iPadのアプリを活用して児童が花火師になり、画面にタッチすることでたくさん花火を上げることができました。観客の児童からは「すごい」という声や、映し出されるスクリーンをじっと見つめる児童もいて、花火大会は大成功に終わりました。

みんなでゲームなどをする中で、徐々に表情が緩み、みんなの笑顔がたくさん見るすることができました。

コロナ禍で行事も縮小の中、少しでも夏を楽しんでほしいと思います。1学期のよい思い出になったことでしょう。